

第3回TIAナノエレクトロニクス・サマースクール開催報告



大野 裕三教授
筑波大学数理工学系

産業技術総合研究所(産総研)と筑波大学の共同主催のもと、8月25日から8月28日の日程で開催されました。

昨年に引き続き、企画・運営を行った大野裕三教授(筑波大学)にお話を伺いました。

第3回目となる本スクールは、今年度は講義は筑波大で実施されました。昨年度と同様に講義では最先端LSI製造技術を中心にナノエレクトロニクス技術の最新動向に加え、今年度は低消費エネルギーを実現するための回路技術、さらに印刷技術を用いた有機フレキシブルエレクトロニクスについて講義し、産総研西事業所において設計実習やSCR棟見学を体験するとともに、ポスターセッションを実施して参加者相互の研究の紹介・異分野の理解を図りました。



講義風景

スクール1日目はICの基礎を学んだあと、デバイス物理について講義がされました。午後は「TIANANOグリーン・サマースクール」との合同ポスターセッションが開催され、企業アドバイザーにも参加いただき、異分野との共同研究提案(レポート)を実施して深い相互理解を促進しました。また、ポスター発表後には合同の交流会が開催され、親睦を深められたと思います。



交流会

2日目は産総研西事業所においてTCADを用いた実習とSCR棟の見学が実施されました。

3日目はナノスケール半導体製造技術の基盤となるリソグラフィ技術、エッチング技術、フロントエンドプロセス、バックエンドプロセスについて講義がなされました。

4日目はFPGAの基礎と消費電力を下げるための回路技術の講義と、新デバイスの研究開発動向、さらに印刷技術を用いた有機フレキシブルエレクトロニクスの講義がなされました。



産総研:
実習の事前講習

最終日には筑波大・山部教授より、12名に修了証が手渡されました。また、ポスター発表・レポートが優れていた2名に奨励賞が手渡されました。

昨年度と同様に、参加者が予定定員より若干少なかったことは残念ですが、密度の濃いスクールで成功だったと思います。



ポスタープレゼン



合同ポスターセッション

| | |
|----------|---|
| 開催日 | 2015年8月25日(火)~8月28日(金) |
| 会場 | 産業技術総合研究所つくば西 TIA連携棟、筑波大学総合研究棟B |
| 主催(共同開催) | 産業技術総合研究所つくばイノベーションアリーナ推進センター、筑波大学大学院数理工学系研究科 |
| 後援 | 公益社団法人 日本工学会 |
| 構成 | 講義11コマ+ポスターセッション(レポート提出)+ TCAD実習 + 見学 |
| 参加者数 | 12名(大学院生6名、学部生5名、教員1名) ※内 単位取得希望者:3名 |
| 修了証 | 12名(出席率8割以上)に授与 |
| 表彰者 | ポスター奨励賞2名 |

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<http://tia-edu.jp>